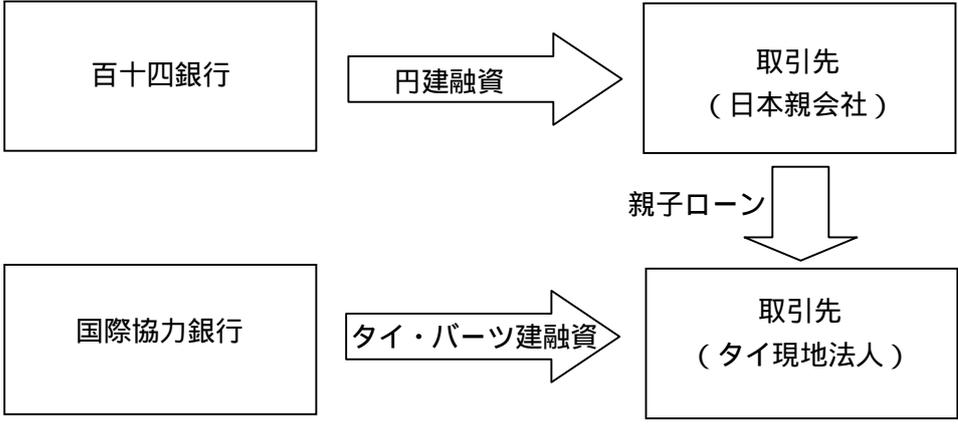


銀行名	百十四銀行
タイトル	地域資源を活用した地域循環型ビジネス展開支援
取組み内容	<p>1. 事例概要 食用作物栽培と地元特産物を活用して新たな市場開拓を試みる取引先に対して、産官学金連携により事業化までの一環した支援を実施した事例。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該取引先は、地元特産品である「ひまわり」や「かりん」の花びらを粉末化して活用することで新たな食品市場の開拓を目指していた。一方、当該地域では耕作放棄地が課題となっていたため、産官学金ラウンドテーブルを組成し、事業計画・資金調達・販路開拓支援等の事業化までを一貫して支援する取り組みを実施 <p>2. 事業化概要 地域資源を活用した地域循環型ビジネスの事業化を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元特産品の「ひまわり」「かりん」等、従来は廃棄処分されていた四季折々の花を契約農家から仕入れ ・大学との共同開発により、同花びらを粉末化して健康的で機能性に優れた自然着色料として製品化 ・オンリーワン素材の自然着色料を和食や洋菓子分野等に活用して食品産業化 ・耕作放棄地を活用して地域資源である県育種カーネーションを無農薬で栽培し、観光農園化することで、新たな販わいと地域に資金が循環する仕組みを構築 <p>3. 当行の取り組み 地域活性化に資する事業として計画策定段階からアドバイスを実施し、事業の実現可能性を検証したうえで、資金調達のみならず販路開拓等を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該取引先が新規設立する洋菓子製造・販売会社の新事業資金について、事業性評価したうえで融資 24M を実行 ・また、本件事業化に際して、総務省の地域経済循環創造事業交付金を活用して、本事業計画策定および設備資金の資金調達支援を実施 ・なお、販路開拓支援については地方銀行フードセレクションにて全国の食品製造メーカーに対して P R を行い、販路の開拓を継続的に実施。ビジネスマッチングを継続し販路拡大に注力する方針 ・当社の運転資金については、現在 6 次産業化ファンドにて対応 <p>4. 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康食品ブームの中、菓子・麺類等の健康食材として全国的に普及する可能性あり ・食用カーネーションの粉末化は全国初の取組みとして、大手食品企業との契約確定 ・県内関連企業との販売契約も確定し、順次販路拡大方針

銀行名	百十四銀行
タイトル	県外企業の工場増設に伴う地元雇用創出及び企業評価力の発揮による地域活性化
取組み内容	<p>1．支援の企業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーヒードリップバッグフィルターとティーバッグフィルターの二本柱を主力商品として香川県内で製造し、世界中の大手企業に販売を行っている県外企業で、同分野での世界シェア 20% 奪取を中期経営目標として掲げている。 <p>2．経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は、香川県内に企業立地を行う県外企業で、当行もかねてより融資シェアアップを目的に、様々な提案を行っていたところ、設備計画について当行に相談あり。 ・相談内容は、新分野への進出に伴う最新設備機械の投資計画および工場増設計画に伴う、事業計画書作成と資金調達。 ・そこで当行は、営業店と本部が連携して事業計画書作成支援及び香川県との企業立地に関する協働工作を行うに至った。 <p>3．概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は、紅茶のティーバッグの大手メーカーに製造機械と材料のフィルターを供給している。 ・大手ユーザーからの品質向上を目的とした要望として、フィルターのみならずタグと糸を含めた全ての材料供給依頼あり。 ・当行は、本事業に伴う設備投資計画の事業計画策定段階から関与し、ものづくり補助金の申請サポートにより、大型印刷機を設備投資するに至った。 ・また、工場の増設計画については香川県との連携により企業立地優遇制度の活用や行政手続きのワンストップサービスを紹介し、工場及び倉庫の増設を竣工し、平成 27 年 5 月に稼働、新たな地元雇用の創出に繋がった。 ・当行は、企業評価（目利き）力を活かして長期資金の融資を実行。金融面で産業振興および雇用創出における地域活性化に貢献。 <p>4．取組姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社は、県外だが工場は全て香川県内に立地していることより、当社の今後の増産計画段階からヒアリングを実施。今後の設備投資計画及び雇用計画に関与していき、地方創生における取組を産学官金の連携で支援していく方針。 <p>5．成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社との取引は、近年スタートしたばかりで、大手銀行および政府系金融機関が融資シェアの殆どを占めていた。本部と営業店の連携を強化し、地方創生への取組強化策として県内企業立地支援を実施した結果、長期資金の融資実行に繋がった。

銀行名	百十四銀行
タイトル	海外現地法人向け融資実行
取組み内容	<p>取引先タイ現地法人向けの設備資金融資実行（国際協力銀行協調融資）</p> <p>取引先（自動車部品メーカー）は、主要販売先である自動車メーカーの東南アジア進出に伴い、タイに現地法人を設立。タイ現地法人では、日系自動車メーカー中心に製品を販売している。</p> <p>タイ現地法人において、主要販売先である自動車メーカーの現地増産体制に対応すべく、生産体制増強を検討。現地での設備資金及び増加運転資金ニーズが発生。</p> <p>当行では、現地工場拡張に必要な設備資金及び運転資金について、国際協力銀行との協調融資による支援を実施。</p> <p>協調融資内容</p>  <pre> graph TD B1[百十四銀行] -- 円建融資 --> C1[取引先 (日本親会社)] B2[国際協力銀行] -- タイ・パーツ建融資 --> C2[取引先 (タイ現地法人)] C1 -- 親子ローン --> C2 </pre>

銀行名	百十四銀行
タイトル	事業性評価に基づく事業支援の取組み
取組み内容	<p>1. 事業性評価の位置付 当行は法人営業において「事業性評価」を、「経営者との経営・事業レベルのコミュニケーションを通して、取引先企業の真の経営課題やニーズを具体的に把握し、企業の課題解決や成長のための当行のコンサルティングやソリューション提供に繋げる取組」と位置づけている。 事業性評価に基づく事業支援へ繋げるために、下記の通りシステム開発、事業支援のルール化、融資商品の設定と態勢整備を行った。</p> <p>2. 事業性評価のためのシステム開発 当行は、顧客のビジネスモデルや事業環境を整理し、将来性・成長性を見極め、当行の長期的な取組方針を明確化できる事業性評価ツールを開発し、平成 26 年 8 月より融資支援システムに導入した。 これにより、顧客のビジネスモデルやニーズ・経営課題等についての情報蓄積、行内での情報共有やデータ活用が可能となった。</p> <p>3. 事業支援へ繋げる仕組みの構築 平成 26 年 11 月以降、事業性評価ツールからデータ抽出し、営業店や行内各支援セクションへデータ還元を行う仕組みを構築。個社の経営課題把握や、ニーズ等分析に活用している。 また、平成 27 年 3 月には、事業性評価により把握した経営課題やニーズ解決のための外部専門機関との連携方法もルール化した。 これにより、事業再生や経営改善先等の経営課題が顕在化した先だけでなく、事業拡大や成長が見込める先の、潜在的な課題解決のための事業支援体制を整備した。現在業績は堅調に推移しているが、将来的にも事業価値を維持するための経営改善を有している企業は多く、それを当行が係わることで、解決する取組として外部機関の機能も積極的に活用している。 特に、金融機関では支援が難しい生産管理（生産性向上、原価低減、品質向上）や、新事業展開（事業化調査、テストマーケティング）等の分野で中小企業基盤整備機構のハンズオン支援事業の活用等、積極的な連携を図っている。</p> <p>4. 事業性評価に基づく融資商品の設定 当行は、主要先・主要産業等「当行が支えるべき企業」を対象として、「事業性向上に不可欠なニューマネー提供」を目的に、香川県信用保証協会との協調融資商品「協調かがわ」を協働で設計、平成 27 年 4 月より取扱開始した。 本商品は当行が事業性評価を行った上で、メイン行・認定支援機関として策定支援した事業計画に基づき、香川県信用保証協会と当行双方でリスクテイクし、ニューマネーを供給する商品として、取引先の事業性向上に活用している。</p>

銀行名	百十四銀行
タイトル	地域の清掃活動への積極的な参加
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域金融機関として地域の環境美化に貢献するため、各地域で開催される清掃活動に積極的に参加している。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、高松市が主催している海岸沿いや空港、地元商店街などの清掃活動に、開催地近くの営業店職員や本部職員が中心となって参加している。 ・ 香川県内県外の営業店においても、地元自治会等とともに水路掃除を行ったり、国立公園や寺院の清掃など、地域の環境美化に取り組んでいる。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な活動により、職員の環境保全に対する意識の向上に繋がっている。 ・ 平成27年6月、高松市主催清掃活動への当行の積極的なボランティア参加による環境美化への貢献に対して、高松市より表彰を受けた。

銀行名	百十四銀行
タイトル	金融教育活動
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 将来を担う子どもたちにとって、お金の役割や流れ、経済の仕組みを学ぶことは重要であると考え、小・中・高・大学生の段階に応じて金融知力を身につけることができる機会を提供するために様々な金融教育活動を行っている。</p> <p>【取組み内容】 地元大学法学部特別講義 金融業界について理解を深めていただくため、行員が講師となり、銀行業務について法律との関係を交えながら講義を行っている。</p> <p>エコノミクス甲子園 高校生を対象にした金融知力を身につけるクイズ大会を、平成20年より毎年開催している。</p> <p>職場体験学習 各営業店が、地元の中学校などを主たる対象としてさまざまなカリキュラムを企画し、ロビーマネージャーの体験や銀行内の見学、ビジネスマナーについての講習会などを開催している。</p> <p>親子体験教室 香川県金融広報委員会と連携し、小学生およびその保護者を対象に、銀行の基本的業務や紙幣の偽造防止技術についての話のほか、本店ビル内を見学したり、本物の1億円や1キロの金塊に触れる体験の機会を提供している。</p> <p>【取組み効果】（上記取組み内容ごとに記載） 就職する前の早い段階から金融業界についての知見を広げる機会として大学側から好評を得ており、金融志望の学生への有用な情報提供となっている。</p> <p>クイズを通じて楽しみながら金融知力を身につける場として、また、金融に関する興味を持つ入口体験として役立っており、参加者からの評価も高い。</p> <p>銀行とはどのような仕事をする所か行員の話の聞いたり、実際に銀行内を見学することで、銀行の業務や役割、重要性についての理解が深まったという感想が多く聞かれている。また、生徒たちが将来の職業について考える機会としても役立っている。</p> <p>参加した子どもたちや保護者から、銀行のお金を「預かる」「貸す」「送る」という仕事や金融について興味を持ったという感想が多く寄せられている。また、本物の1億円や金塊に触れる体験は参加した小学生だけでなく、保護者からも大変好評を得ており、銀行を身近に感じていただけるイベントとなっている。</p>

銀行名	百十四銀行
タイトル	「心の詩」コンサートの開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さまの日頃のご愛顧に感謝し、地域文化に貢献できるよう、創業114周年を迎えた平成4年より毎年開催している。 ・地域の皆さまとより多くの「ふれあいの場」を持ち、豊かな地域社会作りに貢献することを目的としている。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサートは、ご応募いただいた方の中から抽選で無料ご招待している。 ・一般の方から寄せられた随想文の朗読と曲を演奏するスタイルのコンサートで、来場されたお客さまにお楽しみいただいている。 ・また、毎回スペシャルゲストをお迎えし、ミニコンサートも開催している。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年で23回目を迎えたが、早期に募集定員に達するなど、毎年ご好評いただいております、地元のイベントとして定着している。 ・コンサートを楽しみにしていただいているお客さまが多く、「あの随想作品がもう一度聞きたい」「毎年楽しみにしている」などのお声をいただいている。 ・地域の皆さまに銀行をより身近に感じていただく機会となっている。

銀行名	百十四銀行
タイトル	「オリーブマルシェ2014 in KAGAWA」を開催
取組内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香川県産のオリーブの魅力と情報を発信するために、香川県、野村證券、香川大学マネジメント研究科と共催で、さまざまなオリーブを楽しむことができるマルシェ型イベントを開催。 <p>【取組み内容】</p> <p><開催日> :平成26年11月30日 <開催場所> :丸亀町グリーンけやき広場 <開催内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリーブを堪能できる1日として、オリーブ関連商品の飲食・販売のほか、オリーブオイルのテイスティング体験などのステージイベントを行った。 ・オイルだけでなく、オリーブハマチ()や野菜など香川県産の食材を使った料理の紹介や試食のほか、展示販売も行った。 <p>()オリーブハマチとは...香川県特産オリーブの“葉”の粉末を添加したエサを20日以上与えた養殖ハマチのことをいいます。オリーブの葉の粉末を添加したエサで養殖されたハマチは、酸化・変色しにくい肉質で、さっぱりとした味わいが特徴です。</p> <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ当日は、ご家族連れなど多くのお客さまがご来場され、大いに賑わった。 ・試食イベントは大変喜ばれ、ご参加されたお客さまからは「今度自宅で作ってみようと思う」といった感想が聞かれるなど、多くのお客さまに改めて香川のオリーブの魅力を感じていただけた1日となった。



銀行名	百十四銀行										
タイトル	地域の見守り活動に参加										
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご高齢者等が住みなれた地域で安心して生活することができる環境を整備し、地域福祉の向上に寄与することを目的に各地方公共団体と協定を締結。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が通常業務中に高齢者宅等を訪問した際、高齢者等の日常生活に何らかの異変を察知した場合、速やかに警察等にその状況を連絡する。 <table border="1" data-bbox="469 725 1442 1090"> <thead> <tr> <th>協定締結日</th> <th>地方公共団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25年11月22日</td> <td>香川県高松市 高松市民生委員児童委員連盟</td> </tr> <tr> <td>H26年8月1日</td> <td>岡山県総社市</td> </tr> <tr> <td>H26年9月1日</td> <td>香川県観音寺市 観音寺市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>H27年1月5日</td> <td>愛媛県今治市役所 高齢介護課 今治警察署等</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで特に目立った成果はないが、協定を締結したことで、職員の見守り活動に対する意識が高まっている。 ・引き続きだれもが安心して暮らせる地域づくりに貢献していく。 <div data-bbox="614 1406 1173 1982" data-label="Image"> </div>	協定締結日	地方公共団体等	H25年11月22日	香川県高松市 高松市民生委員児童委員連盟	H26年8月1日	岡山県総社市	H26年9月1日	香川県観音寺市 観音寺市社会福祉協議会	H27年1月5日	愛媛県今治市役所 高齢介護課 今治警察署等
協定締結日	地方公共団体等										
H25年11月22日	香川県高松市 高松市民生委員児童委員連盟										
H26年8月1日	岡山県総社市										
H26年9月1日	香川県観音寺市 観音寺市社会福祉協議会										
H27年1月5日	愛媛県今治市役所 高齢介護課 今治警察署等										

銀行名	百十四銀行
タイトル	観光業務従事者・タクシー乗務員を対象とした「おもてなし研修会」の開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香川県の第一印象を左右する観光業務従事者とタクシー乗務員のおもてなし力を向上させ、来県者の満足度向上を図るために開催。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香川県、公益社団法人香川県観光協会、わがかがわ観光推進協議会と共同で、平成27年2月～3月にかけて、観光業務従事者向け、タクシー乗務員向けの研修会をそれぞれ開催。 ・研修会では、香川県観光の基礎知識として、香川県の歴史や観光地、四国遍路等についての理解を深めたほか、当行関連会社の研修スタッフによる接客技術研修を行った。 ・タクシー乗務員については、研修会受講後に認定試験を行い、試験合格者は香川県が「香川県おもてなしタクシー」として認定。 ・平成27年3月30日、香川県庁にて、認定試験に合格したタクシー乗務員60社550名に認定証と車両用認定カードが授与された。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでタクシー乗務員に対してあまりよい印象はなかったが、認定カードを貼っているタクシーは、気配りができていると感じる」と言った声も聞かれており、研修開催に一定の効果があったと感じている。 <div data-bbox="483 1442 1217 1928">  </div> <div data-bbox="1086 1368 1422 1843">  </div>

銀行名	百十四銀行
タイトル	香川県立盲学校との交流会開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者の日常生活における合理的配慮について、理解を深め、情報を交換・共有するために開催。 <p>【取組み内容】</p> <p><開催日>：平成26年8月28日 <場 所>：香川県立盲学校 <交流会内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会は、香川県立盲学校（以下、盲学校という。）の教職員と当行担当者が出席し、盲学校から提出いただいた事前質問に当行担当者が答えるという形式で行った。 ・事前質問は代筆に関するものや、A T Mの操作方法に関するものが多く、当行の対応状況について担当者より説明を行ったのち、視覚障がいを持つ教職員の方に、これらのサービスを実際を利用してみて不便に感じた点や改善したらよいと思う点について、体験談を交えながらお話いただいた。 ・また、インターネットバンキングに関する質問もあり、視覚障がいをお持ちの方にとって利用しやすい画面設計等について積極的な意見交換が行われた。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者のニーズや、サービスの有効性について知ることができたうえ、今後のさらなるサービス向上に向けて貴重な意見を聞くことができ、大変有意義な機会であった。 ・ご参加いただいた盲学校の教職員の方からも、「実生活に応じた内容でよかった。今回知り得た内容を生徒に学ばせていきたい。」などの声が聞けるなど、双方ともに大きな収穫が得られた交流会であった。 

銀行名	百十四銀行																			
タイトル	「瀬戸内モニターガールズ」によるモニタリング研修会の開催																			
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 香川県小豆島観光協会から「幅広い世代を小豆島へ誘致し観光産業をより豊かにするために、女性が求めているものを知りたい」との声から、香川県と共同で新たな着地型観光（ ）開発に役立つ情報の調査・提供を行う女性モニターチームの活動を開始。 <small>着地型観光とは、旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域ならではの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態のこと（観光庁より）</small> <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 香川県と当行の女性職員が任意に集まり、香川県の産業観光にスポットを当てたモニタリング研修会を通じて、新たな地域の魅力を発見し、広く情報を発信することを目的に活動している。 <table border="1" data-bbox="459 840 1444 1512"> <thead> <tr> <th></th> <th>プロジェクト名</th> <th>開催概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1弾</td> <td>そうめんにとっぷりはまる！ 小豆島モニタリング研修会 （平成26年 7月19日開催）</td> <td>長年に亘り発展してきた小豆島の産業（醤油・素麺等）の更なる認知度向上及び小豆島の魅力を再発見する。</td> </tr> <tr> <td>第2弾</td> <td>お成り街道仏生山モニタリング研修会 （平成26年10月25日開催）</td> <td>高松藩主の菩提寺・法然寺の門前町として栄えた仏生山地区の産業（酢醸造等）の更なる認知度向上及び新たな観光資源の発掘を行う。</td> </tr> <tr> <td>第3弾</td> <td>もっと知りたい小豆島オリーブモニタリング研修会 （平成26年11月29日開催）</td> <td>100年の歴史を誇る小豆島オリーブについて、働く主婦が真似したいオリーブレシピの考案及び地元観光資源の新たな魅力を探る。</td> </tr> <tr> <td>第4弾</td> <td>善通寺モニタリング研修会 ～しあわせ訪ねて七ヶ所まわり～ （平成27年 2月28日開催）</td> <td>弘法大師ご誕生の地である善通寺を中心に隣接する七ヶ所のお寺をまわり、お遍路体験をしながら女性の感性で新たな魅力を探る。</td> </tr> <tr> <td>第5弾</td> <td>観音寺モニタリング研修会 ～感動体験観音寺～ （平成27年 5月16日開催）</td> <td>遠浅で海流が穏やかな燧灘で育った海産物の調理実習を行う。食や温泉、パワースポットを巡りながら、女性の感性で新たな魅力を探る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> モニタリング結果は観光協会等に伝え、商品開発等の参考にさせていただいている。 第1弾研修会開催後には、県内外へ素麺の魅力をPRするために「小豆島のそうめんが100倍食べたくなるガイド」を発刊し、小豆島観光協会等に寄贈したところ、大変好評であった。 本活動は新聞等で度々取りあげられたり、他の地域からも「是非来て欲しい」とお声がけいただくなど、地域のみなさまからご評価いただいていると感じている。 			プロジェクト名	開催概要	第1弾	そうめんにとっぷりはまる！ 小豆島モニタリング研修会 （平成26年 7月19日開催）	長年に亘り発展してきた小豆島の産業（醤油・素麺等）の更なる認知度向上及び小豆島の魅力を再発見する。	第2弾	お成り街道仏生山モニタリング研修会 （平成26年10月25日開催）	高松藩主の菩提寺・法然寺の門前町として栄えた仏生山地区の産業（酢醸造等）の更なる認知度向上及び新たな観光資源の発掘を行う。	第3弾	もっと知りたい小豆島オリーブモニタリング研修会 （平成26年11月29日開催）	100年の歴史を誇る小豆島オリーブについて、働く主婦が真似したいオリーブレシピの考案及び地元観光資源の新たな魅力を探る。	第4弾	善通寺モニタリング研修会 ～しあわせ訪ねて七ヶ所まわり～ （平成27年 2月28日開催）	弘法大師ご誕生の地である善通寺を中心に隣接する七ヶ所のお寺をまわり、お遍路体験をしながら女性の感性で新たな魅力を探る。	第5弾	観音寺モニタリング研修会 ～感動体験観音寺～ （平成27年 5月16日開催）	遠浅で海流が穏やかな燧灘で育った海産物の調理実習を行う。食や温泉、パワースポットを巡りながら、女性の感性で新たな魅力を探る。
	プロジェクト名	開催概要																		
第1弾	そうめんにとっぷりはまる！ 小豆島モニタリング研修会 （平成26年 7月19日開催）	長年に亘り発展してきた小豆島の産業（醤油・素麺等）の更なる認知度向上及び小豆島の魅力を再発見する。																		
第2弾	お成り街道仏生山モニタリング研修会 （平成26年10月25日開催）	高松藩主の菩提寺・法然寺の門前町として栄えた仏生山地区の産業（酢醸造等）の更なる認知度向上及び新たな観光資源の発掘を行う。																		
第3弾	もっと知りたい小豆島オリーブモニタリング研修会 （平成26年11月29日開催）	100年の歴史を誇る小豆島オリーブについて、働く主婦が真似したいオリーブレシピの考案及び地元観光資源の新たな魅力を探る。																		
第4弾	善通寺モニタリング研修会 ～しあわせ訪ねて七ヶ所まわり～ （平成27年 2月28日開催）	弘法大師ご誕生の地である善通寺を中心に隣接する七ヶ所のお寺をまわり、お遍路体験をしながら女性の感性で新たな魅力を探る。																		
第5弾	観音寺モニタリング研修会 ～感動体験観音寺～ （平成27年 5月16日開催）	遠浅で海流が穏やかな燧灘で育った海産物の調理実習を行う。食や温泉、パワースポットを巡りながら、女性の感性で新たな魅力を探る。																		